

がん総合相談に携わる者に対する 研修プログラム策定事業 -ピアサポーターを対象とした研修-

がん総合相談に携わる者に対する
研修プログラム策定事業 運営委員会
委員長 天野 慎介

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業の概要

■事業の目的

都道府県に新たに地域統括相談支援センターを設置し、患者・家族らのがんに関する相談について、心理・生活・介護など様々な分野に関する相談をワンストップで提供する体制を構築するにあたり、がん患者又はその家族の方がピアサポーターなどの相談員に対し、相談事業に関する基本的なスキルを身につけるための研修を行うための研修プログラムを策定し、全国における相談事業の均てん化を図ることを目的とする。

■事業の内容

1. 研修プログラムの策定等
医療関係者、カウンセラーなどの有識者やがん患者団体等の当事者による「研修プログラム策定委員会」を設置し、がん患者やその家族の方などが行うピアサポートに必要なスキルを身につけるための研修プログラムを策定の上、実際に試行的な運用を行うことにより、検証及び必要な改善を行う。
2. 研修プログラムの周知
研修プログラム策定委員会により策定された研修プログラムを報告書にまとめ、国に提出するとともに、各都道府県に配布し、かつ、説明会の開催やホームページ等により周知を図る。

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム 運営委員会委員名簿

委員長	天野 慎介	NPO法人グループ・ネクサス 理事長
委員	明智 龍男	名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授
委員	大庭 章	群馬県立がんセンター 精神腫瘍科・総合相談支援センター
委員	坂下 千瑞子	東京医科歯科大学医歯学融合教育支援センター 特任助教
委員	桜井 なおみ	NPO法人 HOPEプロジェクト 理事長
委員	松本 陽子	NPO法人 愛媛がんサポート おれんじの会 理事長
委員	若尾 文彦	国立がん研究センターがん対策情報センター センター長

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム 評価委員会委員名簿

委員長	小川 朝生	国立がん研究センター東病院 臨床開発センター精神腫瘍学開発部 室長
委員	秋月 伸哉	千葉県がんセンター 精神腫瘍科 部長
委員	石川 睦弓	静岡県立静岡がんセンター研究所 患者家族支援研究部 部長
委員	大野 裕美	名古屋市立大学大学院人間文化研究科 研究員
委員	小俣 智子	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 准教授
委員	野田 真由美	NPO法人 支えあう会「α」 副理事長
委員	花井 美紀	NPO法人 ミーネット 理事長
委員	三好 和子	聖徳大学心理・福祉学部心理学科 専任講師

(敬称略、50音順)

公開シンポジウム「考えよう！がんピアサポート研修プログラム」(2012年9月)

(シンポジウムのポスター)

(ホームページでのシンポジウムの動画配信)

- ピアサポートの現況やあり方に関して患者や医療者の皆さまより意見を集約
- ピアサポートや研修プログラムに関する各地での多様なあり方やニーズが明らかに

ピアサポートの例(千葉県がんセンター・患者相談支援センター)

ピア・サポーターズサロンちばのご案内

「他の患者さんと話してみたい・・・」と思う事はありませんか？ピア・サポーターズサロンちばは、がん経験者がピア・サポーターとして患者さんやご家族の悩みを聞いたり、体験をお話する会です。ピア・サポーターは千葉県の養成講座を受講・修了しています。

日時：7月30日(月) 10時～15時
場所：千葉県がんセンター
1階 研修室 (売店奥)

お問い合わせ：千葉県がんセンター患者相談支援室
千葉市中央区土戸名町668-2
043 (264) 5431

当日参加予定のピア・サポーター

胃がんと膵臓がんで手術・抗がん剤・放射線治療を経験。	開催時間内は 出入り自由です。 ご都合のよい時 間にお越しください。 また、次の開催は9月 26日(水)です。
乳がんと肺がんで手術・抗がん剤・放射線治療を経験した「仲間」としてお話したい。	
直腸がんで手術を経験。ストマを装着しているが、普通に生活している。	
乳がんで手術・抗がん剤治療を経験。仕事や趣味の毎日を元気に過ごしている。	
直腸がんを経験。膵臓癌も7回経験した。	

乳がんと直腸がんを経験し、気持ちを言葉にする人切さ、話を聴くことの意味を知った。

主催：千葉県地域連携相談支援センター

(ピアサポーターによるがんサロン)

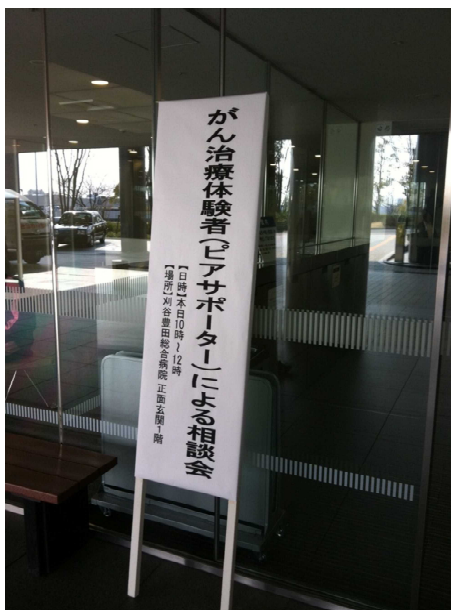


(ピアサポーターによる相談スペース)

- ・ 看護師、MSW、ピアサポーターが連携してがん患者や家族に対する支援を行う
- ・ 県主催による研修を受けたピアサポーターが参加する、がんサロンを院内で開催

5

ピアサポートの例(NPO法人ミーネット・愛知県)



(医療法人豊田会刈谷豊田総合病院でのピアサポーター相談会)

- ・ 医療機関と連携し、院内ロビー等のオープンスペースなどでピアサポート活動を実施
- ・ NPO法人主催による、およそ90時間の研修を受けたピアサポーターが相談対応

6

ピアサポート研修の例(沖縄県地域統括相談支援センター)



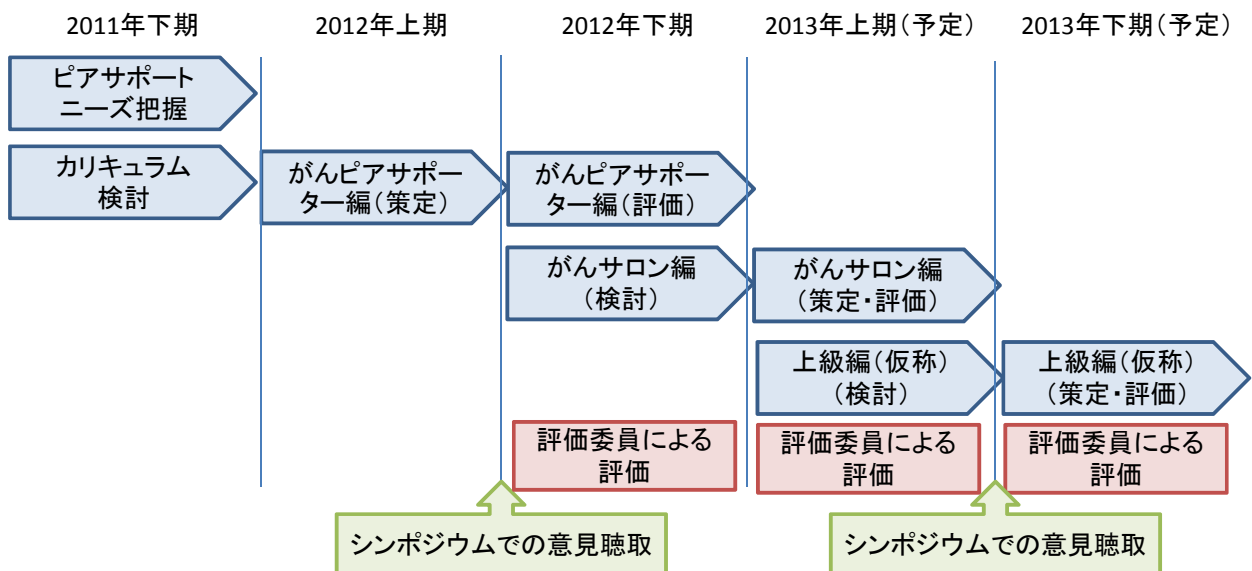
(研修会のチラシ)



(フォローアップ研修会の様子)

- 2011年にピアサポーター研修会、2012年にフォローアップ研修会を実施
- 座学やロールプレイ、講師はピアサポート経験者や医師、看護師、臨床心理士など

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業 スケジュールと内容



	がんピアサポーター編	がんサロン編	上級編(仮称)
対象と内容	初めて学ぶ方を対象に、ピアサポートに関する基本的な内容や、守るべき事柄について理解しやすい内容とする。	初級を学ばれた方や、同程度の経験を有する方を対象に、より踏み込んだ内容や、がんサロン等におけるファシリテートについても触れる内容とする。	がんピアサポーター編・がんサロン編を学ばれた方や、同程度の経験を有する方を対象に、ピアサポーターのスーパーバイズや、ピアサポーター研修の指導にあたって必要な内容とする。
教材	テキストやDVD、研修の手引き等を作成する。Webによる素材配布や、eラーニングの活用も考慮する。		

研修プログラム(初級編・β版)研修テキスト目次

① はじめに

② ピアサポートとは何か？

- 1) ピアサポートの定義
- 2) ピアサポートの重要性と意義
 - (1)ピア(仲間)が支援することの意義
 - (2)がんによる体験の共有
 - ①治療のこと
 - ②気持ちのこと
 - ③生活のこと
 - (3)「体験を共有し、ともに考える」ことの意義
 - ①安心感を持ってもらう
 - ②体験に基づく情報の提供
 - ③仲間との出会い
 - ④自信の獲得
- 3) ピアサポートの限界
- 4) ピアサポーターの活動内容、活動の場
 - (1)ピアサポートの活動内容
 - (2)ピアサポーターの活動の場所
 - (3)記録の取り方
- 5) ピアサポートにとって大切なこと
 - (1)ピア(仲間)を大切にする
 - (2)ピア(仲間)の求めていることを考える
 - (3)個人情報を守る
 - (4)医療行為に関する内容に踏み込まない
 - (5)ピアサポーターの影響と責任を考える
 - (6)活動を振り返り、スキルアップを図る

③ より良いコミュニケーションのために

- 1) 話しを聞く際に配慮すること
 - (1)服装
 - (2)あいさつ、自己紹介
 - (3)個人情報の保護について
 - (4)座り方・視線
 - (5)言葉以外のメッセージにも配慮しましょう
- 2) ピアサポートに役立つ会話のヒント
 - (1)よく聴いていることを伝える
 - (2)自由に答えられる質問の効果

④ 知っておきたい基礎知識

- 1) ピアサポーターが知っておくとよい地域の情報
 - (1)がんに関するあらゆる相談ができる窓口「相談支援センター」
 - (2)孤独感や不安に対応してくれる「がんサロン」「患者会」
 - (3)お金に関する悩みへの対応
 - (4)日常生活に関する悩みへの対応
 - (5)仕事に関する悩みへの対応
- 2) 医学的知識(がんの基礎知識)
 - (1)がん診療の流れ

9

研修プログラム(初級編・β版)研修テキスト目次 (続き)

(2) 各種がんの基本的知識

- ①胃がん
- ②大腸がん
- ③肺がん
- ④乳がん
- ⑤肝がん

(3) がん治療の3本柱(手術、放射線、薬物)

- ①手術療法
- ②放射線療法
- ③薬物療法

(4) 精神腫瘍学について

- ①サイコオンコロジー(精神腫瘍学)とは
- ②がん患者の心理的反応—通常反応
- ③がん患者の精神症状の頻度
- ④がん患者の自殺—うつ病の見過ごし
- ⑤心のケアについて相談するには
- ⑥専門家による心のケア

(5) 緩和ケアについて

- ①緩和ケアとは
- ②緩和ケアを受ける時期
- ③緩和ケアを受けるには

(6) 臨床試験と先進医療制度について

- ①臨床試験(治験)とは
- ②種類と段階
- ③利点と不利な点

④情報の集め方

- ⑤臨床試験に参加するには
- ⑥先進医療制度とは

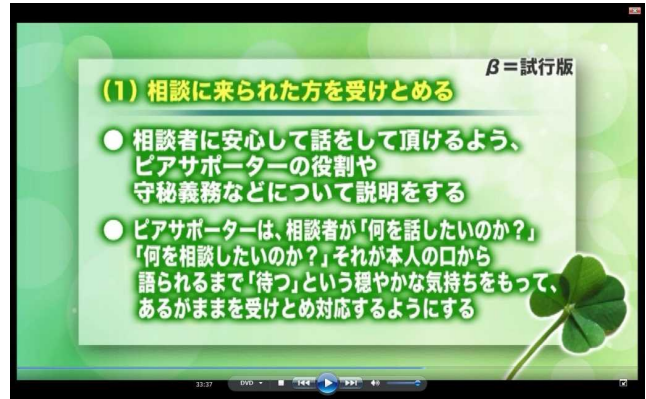
(7) 補完代替医療について

- ①補完代替療法とは
- ②情報を集めるには
- ③有効性と安全性の評価
- ④必ず担当医に相談しましょう
- ⑤科学的な証明と効果は？

[模擬相談(シナリオ)] DVD収録

- 1) ピアサポートにとって大切なこと
 - (1)相談者を大切にする
 - (2)相談者の求めていることを意識する
 - (3)個人情報を守る
 - (4)医療行為に関する内容に踏み込まない
 - (5)ピアサポーターの影響と責任を考える
 - (6)活動を振り返り、スキルアップを図る
- 2) より良いコミュニケーションのために
 - ①相談に来られた方を受け止める
 - ②話に耳を傾けること
 - ③自分の体験を話す
 - ④最終的に判断をするのは相談者自身
 - ⑤医療・福祉の専門家への紹介

研修プログラム(初級編・β版)研修DVDより



11

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業 ホームページ

厚生労働省委託事業
がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業

▶ ご意見・お問い合わせ
サイト内検索/キーワードを入れてください

HOME 最新情報 事業について よろずピアサポート 委員会より

● 最新情報

2013.01.08 試行版(β版)で研修実施団体紹介「いきいき和歌山がんサポート」

がん患者ピアサポーター養成講座β版研修会レポート
情熱的な医師にリードされ
24人の参加者が初めての体験!

今年度の「がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業」では9月にプログラムの試行版(β版)を公開し、「研修プログラムに対する評価を得ること」を主な目的として研修会を開催する団体等を公募しました。

2回に渡る公募の結果15団体が応募、13団体が研修を実施しました(応募・実施団体一覧参照)。

そのうち、2012年12月1・2両日|和歌山市で開催された「NPO法人いきいき和歌山がんサポート」(以下、いきいき和歌山)の研修風景と受講者の声を紹介いたします。
(取材 策定事業ワーキンググループ・竹内義朗=フリーランスライター)

講座終了後に全員で記念撮影。明るく締めくくりとなった。

がん総合相談研修に携わる者に対する
研修プログラム策定事業
研修プログラム試行版(β版)応募・実施先団体一覧

団体名
1-1 特定非営利活動法人広島がんサポート
1-2 山鹿がんピアサポート希望(のぞみ)の会

最新情報
がん総合相談研修プログラム策定シンポジウム
考えよう!
がんピアサポート研修プログラム

9月30日

2011年のシンポジウムの様子を動画でご覧いただくにはこちら

2012年のシンポジウムの様子を動画でご覧いただくにはこちら

公益財団法人
日本対がん協会

- 運営委員会(月1回程度開催)や評価委員会(年3回程度開催)の議事録等の公開
- ピアサポートに関する研修プログラムや各地の事例に関する情報の公開
- 2012年9月に研修プログラムへの意見集約のための公開シンポジウムを開催

12